



# シャローム

新年特別号  
shalom

第巻六五号  
2023.1

ヘブライ語で「平和」「平安」を意味する言葉。日常の挨拶「こんにちは」や「さようなら」として用いられており、神さまの守りと恵みによってすべての人に訪れるシャロームを皆さんに、という願いで医療団発行紙は「シャローム」と名付けられています。



## 新年のご挨拶 ～コロナ対策の新たな任務～

あまかわ りゅういち

理事長・病院長 尼川 龍一

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

当院は、新型コロナウイルス感染に関する新しい取り組みを始めましたのでご紹介します。当院は京都市からの要請を受け、「京都市高齢者施設等新型コロナ医療コーディネートチーム」を設置することになりました。その役割は、左京区の高齢者施設においてコロナのクラスターが発生した場合、陽性者が適切な治療を受けることができるようサポートすることです。具体的には、当院のコーディネートチームが陽性者の医療情報を保健所などから受け取り、必要な治療内容や派遣すべき訪問診療医の数などをアセスメントします。そして、その結果を左京医師会の往診可能な協力医療機関に伝達して、訪問診療医に速やかに現場に介入していただくよう調整するものです。また、訪問看護師の派遣も

必要ですので、地域の訪問看護ステーションとの連携も大切です。すなわち、今回の取り組みは、京都市・左京医師会・訪問看護ステーション・当院がタッグを組んだ「左京区チーム」による高齢者施設へのサポート体制であると言えるでしょう。

コロナ禍にあって、当院は『全人医療』の理念と『断らない病院』のスローガンのもと、積極的にコロナ診療を展開してまいりました。今回、新たに新型コロナ医療コーディネートチームの重責を担うことになり身の引き締まる思いであります。そして、私どもがささやかなりとも地域のみなさまのお役に立つことが出来れば喜びもひとしおです。

本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしく申し上げます。

循環器内科部長 **岡本 文雄**  
2022年10月1日着任



10月に高槻赤十字病院から着任致しました。本業はずっと循環器内科で、前任地では救急も兼務したり、災害の度に救護活動にも携わってきました。バプテスト病院でも、地域の皆様のために微力ながらお役に立てれば嬉しく思います。どうか宜しく願い申し上げます。

小児科医員 **宇佐美 亜由子**  
2022年10月1日着任

10月より勤務させていただきます宇佐美と申します。これまで、兵庫医科大学病院、北野病院、京都大学医学部付属病院で勤務しておりました。NICUを中心に一般小児科の領域を学び、地域の子供たち、ご両親が笑顔で健康に過ごせるよう精進致します。何卒宜しくお願い致します。

## Relay Column

### バプテスト老健 **リレーコラム**

vol.11

老健での生活リハビリについて

たかぎ じゅん  
介護福祉士 **高木 純**



当施設の「生活リハビリ」についてお話しさせていただきます。生活リハビリとは何か？

トイレや着替え、入浴、食事等の日常生活の中での動作そのものをリハビリとして捉え、出来る事は自分で、出来ない部分をお手伝いし自立した生活を支援するという考え方で。リハビリ職員に限られた時間の中でリハビリを実施しています。その中でリハビリ職員の訓練により習得した技術を生活の中に落とし込み、日々繰り返し実施していくことで、より効果的にリハビリに取り組めるよう介護職員が支援しています。

生活リハビリの内容についてご紹介します。食事介助では、食事中にお箸を使用することが難しいご利用者に、食事補助具を使用する方法があります。お箸が使用できないからと安易に介護職が介助してしまえば、ますますご利用者の生活機能は衰えてしまいます。入浴介護では、身体をご自身で洗うことも生活リハビリになります。シャワーチェアを活用したりして、可能な限りご自身で洗えるように配慮し、声掛けや介助を行っています。

介護職員の役割としては、ご利用者の今ある能力を維持し、出来る限り自立した生活を送ってもらえるようサポートすることと捉えています。

## 薬でつながるちょっといい話



### vol.38 妊娠中・授乳中のお薬について

なら みなみ  
薬剤部 **奈良 美波**



「妊娠中だから頭痛薬はのまない方がいいのかな？」「授乳中の妻に薬が処方されたけど本当にのんで大丈夫？」という疑問を抱いたことはありませんか？妊婦や授乳婦が薬剤治療をする機会は度々ありますが、赤ちゃんへの影響を考えて悩まれる方も多いのではないのでしょうか。今回は、この時期のお薬についてお話をしたいと思います。

妊娠・授乳中の薬で大切なことのひとつが、薬の胎盤の通過のし易さ、母乳への移行のし易さです。例えば、妊娠中に頻用される解熱鎮痛剤に「アセトアミノフェン」がありますが、この薬は胎盤を通過しにくい水溶性薬物であり、経験的にも安全と考えられています。また、母乳移行も極少量であり、授乳中でも安全性が高いお薬の一つです。解熱鎮痛薬に限らず安全性の高い医薬品を選択していく必要があります。特に市販薬を選ばれる際は、注意が必要です。一度薬剤師に相談の上で選択しましょう。

母体と胎児・乳児の健康のために薬が不可欠な場合もあり、正しい知識を持って、必要な薬はきちんと服用することが大切です。妊娠期・授乳期を少しでも快適に過ごせるよう、ぜひ医師・薬剤師にご相談ください。



## 健康・栄養

### 第48回 ～食こぼれ話～

かねこ みどり  
管理栄養士 **金子 緑**



年末年始は忘年会やクリスマス、お正月に新年会と食べたり飲んだりする機会が増える方が多いと思います。気がつけば体重が増えていた～!!なんていうことがないようにちょっとした工夫で乗り越えたいものです。



#### 年末年始の食生活の注意のポイント 10か条

##### 1. 昨年を含め、毎年何を食べすぎているのか思い出してみましょう。

好きなものはどうしても量が増える傾向にあります。自分の好きなものを振り返って考えてみましょう。

##### 2. 箱買い、まとめ買いに気をつけましょう。

自分の好きなものは、お正月だから、と買いすぎる傾向にあり、またあると、つい!食べてしまいます。

そして賞味期限が近づいているし早く食べなくちゃ!なんて言い訳をしながら余分に食べてしまいます。

食べたい時に散歩がてら買いに行ってもいいかも…。

##### 3. 生活リズムの乱れに気をつけましょう。

特に年始は生活が不規則になり、1日中だらだら食べたり、朝遅く起きて1日2食のパターンになり1食でたくさん食べすぎることがあります。気をつけましょう。

##### 4. 夜遅くまで飲食しないようにしましょう。

特に年末年始は夜更かしすることが多いのでは?…起きているとお腹がすいていると感じ、夜遅くまで食べる、寝る間際まで食べることがあります。止めてみましょう。

##### 5. テーブルやこたつには何も置かない。

目の前にあるとつい手が伸びます。おなかいっぱいでもみかんに手が伸びるのでは?

食事が終われば一旦片づけましょう。

##### 6. 「ながら食い」をしない。

テレビを見ながら、〇〇しながらなど気がつかない間に食べてしまうことはありませんか?

気が付けば袋のお菓子が無くなっていて!なんてことがないようにメリハリをつけましょう。



##### 7. 「野菜から食べる」「よく噛んで食べる」を意識しましょう。

野菜は満腹感が出て食べすぎを防ぎ、急激な血糖値の上昇を抑えてくれます。

ただし、いも類、栗などは野菜に含まれません。気をつけましょう。

##### 8. アルコールの飲みすぎに注意!

瓶、ボトルなど飲む量が増えるものには特に注意が必要です。また、飲みすぎは食べ過ぎにつながります。時間を決めてだらだら飲まないようにしましょう。

##### 9. 体重を測りましょう。

寒いからと運動量も減りがちで家に閉じこもってしまう人も多いのでは?することがないので、手持ち無沙汰でつい食べる、という人も多いため、増えるのはあつという間ですが、減らすのはなかなかです。

こんな時期でも毎日体重計に乗りましょう。

##### 10. 塩分に注意しましょう。

お正月料理は日持ちをさせるため、味が濃くなっています。摂取量に加え、塩分量が増え血圧が上がったりすることもあります。練り製品や加工品などにも気をつけましょう。

みやがわ ゆみこ

牧師・チャプレン **宮川 裕美子**



## 聖書の小道

### 第55回

#### 「チャペル」

わたしの霊は

救い主である神を

喜びたたえます。

ルカによる福音書

1章 47節

コロナ禍の病院での昼礼拝は、放送でお届けしていますが、チャペルに行きたいと願われる方たちには、個別に来て頂いています。ある時、お連れしたクリスマスチャンの患者さんは、久しぶりのチャペルをととても喜び、そして、こう言われました。「自分が教会の子であることを思い出した」。また、ある方は、チャペルに来て言われました。「祈り方を教えてください」。そして、何度かチャペルに来るうちに、こうも言われました。「ここは単なる場所ではありませんね」。

チャペルに来られた患者さん方を病室へとお送りする時、その顔はどこかすっきりしています。また、「来られて良かった」と喜びと笑顔で輝いているのを見ると、イエスの母マリアの賛美の言葉が思い出され、チャペルは霊性を覚醒させる特別な空間なのだ、そう思われます。

大いなる存在を求める者の心と魂に働き、神が近くにいますことを感じられる場、チャペルから、新しい年も、お一人お一人の上に神様の慰めと平安、そして希望と祝福をお祈りします。

従来、緩和ケアは悪性腫瘍（がん）を対象に発展してきました。

しかし、2002年の緩和ケアの定義では、特定の疾患を対象としておらず、その対象はがん・後天性免疫不全症候群（AIDS）・神経疾患・救急・集中治療領域・アルツハイマー病を中心とした老年医療、心血管疾患、呼吸器疾患、腎疾患などに広がりました。これらの慢性疾患の経過は、以下の大まかに3つのパターンに分類できます。

1. 死亡前、数週間から数か月に前に身体機能が急激に低下するパターン（進行期の悪性腫瘍）
2. 数か月から数年にわたり、急激な状態の悪化と回復を繰り返し穏やかに進行するパターン（心不全や呼吸不全）
3. 数年以上の単位でゆるやかに低下するパターン（認知症）があります。

これらへの疾患に対する緩和ケアへのアプローチとしての最大の特徴は、これらの疾病の経過を把握し、現在どの時点にいるかを認識した上で、今後さまざまな身体症状による苦痛がいつ起こり得るか、また患者・家族はどのような体験をし得るかを予測し、患者・家族の苦悩に予め対策を立てる事にあると言われています。

## イマヌエル基金のご案内

当医療団では、キリスト教精神に基づく全人医療充実のための財源として、「イマヌエル基金」を設けています。寄附金は、随時受け付けています。詳しくはおたずねください。

### 寄附の方法

寄附金は、直接、当医療団へお持ちいただくか、郵便振替での送金をお願いします。領収書は後日お送りいたします。

がんの緩和ケアは予測と対策が立てやすいと言われてますが、認知症には予後予測の難しさがあると言われてます。

しかし緩和ケアは、認知症患者に対してもがんと同様に「生活の質の向上」を目指した取り組みが必要です。

治療方針をめぐる意思決定支援に於いても代理人を決めてしまいがちですが、本人が決められる様なサポートや、理解ができるように促す工夫などが緩和ケアアプローチと言えるでしょう。

認知症の患者は軽度でも、ある程度進行した段階に於いても、自身が認知機能障害への苦痛を自覚し、社会でも家庭内でも自尊心が傷つく体験をされていると感じます。

緩和ケア病棟に於いても、認知症を持ちがんの身体的苦痛と併合しながら療養されている方も多く、いわゆる全人的ケアが必要だと感じながらも私自身出来ているかどうか…。

認知症においては本人が苦痛を認識できないとの先入観から苦痛を見落とされている事も多々あると思いますので、言葉だけではなく表情や感情の起伏などから苦痛を見落とさないように私達の気づきが大切なのだと感じます。認知症の方に対して、人間性が軽んじられる現実も否めないため、私たちが擁護者になってこそ、緩和ケアのかな、と自身を振り返る機会となりました。

### 郵便振替

記号番号 00960-4-282133

加入者名 一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団

### お問い合わせ先

日本バプテスト連盟医療団 経理課

TEL 075-702-5926

献金・献品 感謝ご報告 (2022.8.1-10.31) 敬称略 田中大 船越龍成 鈴木幸子 川邊京子 藤田富士 匿名の方2名

## 日本バプテスト病院の基本理念は全人医療です。

人間は「からだど、こころと、たましい」からなる全人格的な存在です。

当病院は、イエス・キリストの隣人愛に基づき、全職員がよいチームワークを保ち、専門的知識と技術を活かして、全人医療の業に専念します。

シャローム No.165 2023年1月発行

発行／一般財団法人 日本バプテスト連盟医療団 発行人／代表理事 尼川 龍一 編集／日本バプテスト連盟医療団広報委員会

この広報誌は日本バプテスト連盟医療団のはたらきを広くお知らせするために作成しております。

著作権、個人情報保護の観点から、流用・転載を固くお断りいたします。